

趣 意 書

千葉大学看護学部は、1975 年度に国立大学唯一の看護学部として設置され、2025 年度にお陰様で創立50 周年を迎えます。50 年間で3,886 名の卒業生を輩出し、多くの人材が国内外で幅広く活躍しています。看護学部は、看護学の教育・研究の発展に尽力し、社会に貢献する看護学のリーダーを育成してまいりました。

私たちは、1979 年度に修士課程、1993 年度に博士課程を開設し、国内最大規模の看護学大学院へと成長しました。2002 年度には看護システム管理学専攻、2014 年度には5 年一貫制博士課程共同災害看護学専攻を設立し、教育研究者のみならず専門看護師や看護管理者、災害看護のリーダーの育成を推進しています。2021 年度からは、全国に先駆けて特定看護師も育成しています。

また、附属看護実践研究指導センター（1982 年度設置）は「看護実践・教育・研究共創センター」として再編され、基礎教育と継続教育の充実に貢献しています。さらに、2015 年度に「専門職 連携教育研究センター」を設置し、多職種連携を推進しています。

2021 年度には教員組織を看護学研究院として再編し、中核ミッションである「社会のニーズに応える先進的な教育プログラムの開発」と「人材育成を通じた日本の看護学の発展」のために邁進しております。

50 周年を迎えるにあたり「看護学の普遍と革新：未来社会への挑戦」をテーマに掲げ、これまでの歩みを振り返り、次の 50 年に向けてさらなる発展を目指しています。そのためには、国立大学唯一の看護学部として、教育研究環境を充実させ、次世代のリーダーを育成し、日本の看護学教育研究を牽引していくことが急務であります。

このような状況の中、創立50周年を機に、下記の周年記念事業を行います。

- * 記念式典・記念講演会等の実施
- * 記念誌等の作成
- * 学生・教職員の教育研究支援

国立大学法人化以降、国からの交付金が継続的に減額されており、学生支援や研究環境への支援が十分に行えない状況となっており、これらの記念事業の実現には、卒業生・修了生をはじめ、これまでの関係者の皆様からのご理解とご寄附が不可欠です。

特に、記念式典等は卒業生・修了生並びに本学部のステークホルダーである関連機関や企業等が一堂に会して、未来志向の看護学を醸成する貴重な機会と考えております。

ぜひ皆様からの力強いご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2025年1月吉日



国立大学法人千葉大学

大学院看護学研究院長・研究科長・学部長

諏訪 さゆり

看護学部・看護学研究科同窓会長

森 恵美